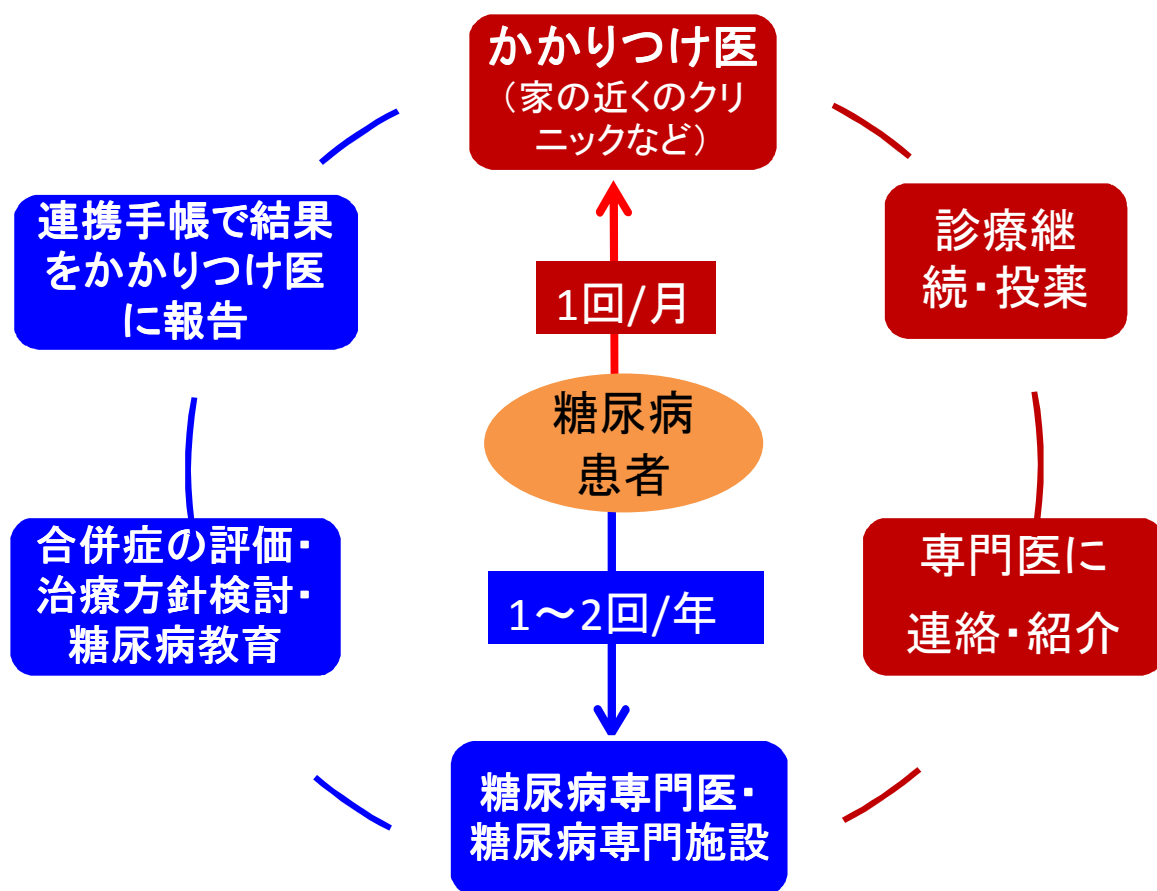


## 旭川地区糖尿病地域連携クリティカルパスについて

- ・今年(平成26年)にはじまる**糖尿病診療**の新しい試みです。
- ・糖尿病専門医とかかりつけ医が協力して1人の糖尿病患者さんを診察します。
- ・専門医として、旭川赤十字病院、旭川医科大学病院、市立旭川病院、旭川厚生病院、道北医療センターそれぞれの糖尿病外来担当医師、および市内の糖尿病専門医(クリニック)が参加します。
- ・かかりつけ医として、現在旭川市およびその周辺の約50の医療機関が参加を表明しています。今後その数は増える予定です。



具体的にどのような動きになるのか、裏をくらんでください。

### Q1. 専門医(専門医療機関)の役割は？

1. かかりつけ医から紹介された患者さんの糖尿病の状態を精査し、最も合ったお薬、治療方法を選びます。
2. 糖尿病に特有な合併症(眼や腎臓や神経、脳や心臓など)を検査、評価し、治療方針を決定します。これは通常一年に一度で十分です。
3. 結果をかかりつけ医に報告し、専門医の治療をかかりつけ医でも続けてもらいます。

### Q2. かかりつけ医(かかりつけ医療機関)の役割は？

1. 専門医に糖尿病患者さんを紹介します。また専門医から紹介された患者さんを専門医の報告をもとに診療します。
2. 常に患者さんの身近にいて、糖尿病だけではなく、体の異常すべてに対して診察、治療をおこないます。必要と考えたら専門医(糖尿病だけではなく)を紹介します。

### Q3. 患者さん自身はどのように診療を受けるのですか？

1. 定期通院は、かかりつけ医にかかります。
2. 最低、年1回程度、かかりつけ医から専門医に紹介し、治療方針の再検討や合併症の評価をしてもらいます。
3. その総ての結果を持って、かかりつけ医に戻り、専門医と同じ治療をかかりつけ医で継続します。
4. 「糖尿病連携手帳」の表紙に、自分が「糖尿病連携パス」に入っていることを証明するシールを貼ります。これによって、市内のどの専門医療機関(日赤でも医大でも市立病院、厚生病院、道北医療センターでも)「糖尿病連携パス参加患者」として途切れなく診療を継続することができます。

**更に詳しいことは、当院糖尿病外来でおたずねください。**



**「糖尿病地域連携クリティカルパス」事業は、市内の公的病院、旭川市医師会および旭川保健所、上川保健所、北海道保健福祉部がお互いに協力して進める糖尿病対策事業です。**